



施政方針と新型コロナウイルス対策

3月定例議会

3月定例議会では市長から施政方針及び新年度予算案等が示され、審議の上、可決しました。

すでに新型コロナウイルスの蔓延が始まっており、この影響により新年度予算案の一部が執行できない可能性があることが示されました。未執行のものについては6月定例議会以降に補正される予定です。

新年度予算の特徴としては、横須賀再興プランに掲げる将来への投資を着実に進め、また、地域コミュニティや福祉施策を中心に、社会状況の変化などを踏まえた、スピード感のある施策展開を目指した予算案となっております。

特に福祉施策では、福祉の総合相談窓口（愛称…ほっとかん）を新設し、関係課が連携しオール横須賀で福祉の充実を進めることとしていきます。

また、ICT技術やAIなどを活用した取り組みも始められ、経済復興や子育て施策、子どもたちの学びなどにも取り入れられてきています。市議会としても、推移を見守りつつ、市内の活性化に向けて取り組んでまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、市民活動の自粛拡大が進み、市内経済活動が極度に停滞しています。特に中小企業の事業継続は危機的状況です。地域経済が凍り付いたまま生活を維持することが困難になることも考えられることから、本市議会では「新型コロナウイルスによる経済被害を軽減させる緊急経済対策を求める意見書」を国に提出しました。



ガイダンスセンター施設イメージ

福祉総合相談窓口の新規開設について

消防局庁舎1階の旧あしんかん地域福祉課を新設し、併せて開設する「よこすか成年後見センター」「終活支援センター」とともに福祉分野の総合相談窓口を整備します。総合相談窓口では、様々な困りごとを抱える方の相談やどこに相談してよいかわからない相談、分野をまたぐ複合的な相談を窓口担当が一括して受け付け、関係課と連携しながら解決に努めます。

主な質疑

問 窓口の開設時間は、
答 平日の8時30分～17時。このほか電話、メールでの相談が可能。休日・夜間については今後の検討課題。

問 窓口における相談対応の流れは。
答 初めにコンシェルジュ（総合世話係）が相談者の話を聞き取り、内容によって総合相談、成年後見、終活支援の各担当や関係課につなぐ。

問 複合的な課題を抱えた相談者への対応のイメージは。
答 まずは総合相談窓口で受け止め、関係部局の担当者や関係機関が集まってケア会議を開いて協議を行い、相談者に寄り添った対応をしていく。

問 相談者にとって最初の担当者が課題解決までの伴走者となるか。またその重要性についてどう考えるか。
答 総合相談窓口は、相談を受け止め、必要に応じて適切な関係機関へつなぐことが役割と認識している。伴走者の重要性は認識しているが、現在の人事制度の枠組みの中では難しい。どのような形で一人の支援を継続できるかは引き続き検討していきたい。

問 関係部局間での情報共有の在り方は。
答 個人情報など踏み込んだ個人情報共有も考えられる。個人情報保護の観点も含めて検討していく。



ルートミュージアム整備事業について

日本近代化の礎となった横須賀の歴史を伝える中核拠点として、ヴェルニー公園内にティポデザイン邸を活用した（仮称）横須賀市近代遺産ガイダンスセンターを整備するとともに、日本遺産構成文化財をはじめとした市内に点在する近代化遺産などを関連する遺産として整備を進めることにより、市内全体を軍港資料館として捉えたルートミュージアムを構築します。

令和2年度に新たに整備する拠点としては、千代ヶ崎砲台跡、走水低砲台跡、貝山地下壕、中央公園となります。

加えて、各サテライトを周遊するための移動手段の強化も進めていきます。

主な質疑

問 ガイド育成研修の対象と内容は。
答 令和元年度に引き続きNPO法人を対象としています。ガイダンスセンターと各サテライトに配置するガイドの研修内容は分けて考え、それぞれの箇所ガイドする内容に沿ったものとしたい。

問 移動手段の検討状況は。
答 周遊ルートを充実させることで新たなバス路線をつくっていくことについて民間事業者と相談している。浦賀道や海上の活用も検討したい。

デジタル・ガバメント推進事業について

「デジタル・ガバメント」とは、行政のデジタル化を進め、それを契機に、行政サービスの内容や提供方法、行政組織の在り方などを刷新するとともに、社会的課題の解決を進め、安全安心かつ公平、公正で豊かな社会の実現を目指すことです。

主な質疑

要約すると、情報通信技術（ICT）を活用して、行政や社会を変革し、誰もが暮らしやすい社会の実現を目指すことも

消防活動用ドローンの導入について

消防局では、令和2年度に消防活動用ドローンを導入します。



消防隊は、消防活動をするために必要な資機材を調達していますが、災害状況を的確に把握してより多くの情報収集をすることで、早期に初動体制を構築し更なる消防力の強化を図るため、新たな資機材として、消防活動用ドローンを導入します。

主な質疑

ドローンの導入に合わせ、ドローン操縦士の育成も開始され、より時代に即した消防体制の構築が期待されます。

言えます。

本市は、利用者中心の行政サービスと新たなイノベーションを創発できる地域の実現を目指し、デジタル・ガバメントを推進し、市民の暮らしやすさの向上を図ります。

デジタル・ガバメント推進室の具体的な役割は何か。

各部署から情報を収集したり、目的意識をもつ

新型コロナウイルス感染症対策の現状について

具体的に各部署に提案を行うなどして、ICTを利活用した業務改善につなげていく。

を図る必要性があるのではないか。

長井海の手公園は、隣接する3.3haの国有地を取得するとともに、横須賀市が国から管理委託を受けている公園南側に位置する国有地(崖地)を加え、公園の交流拠点としての機能拡充と開園から15年経過し、大規模修繕が必要な既存施設の再整備を行うための基本計画を策定しました。

主な質疑

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市立学校の休校、放課後児童クラブの特別開所、公共施設の休館など、各所で様々な対応がなされました。

保健師が対応している。健診再開時にはできるだけ安全な環境を検討し速やかに対応したい。

相互協力の覚書を締結したバラスト市等の協力によりネパールから調達したマスク3万枚の使用した。



自治体ではPCR検査を断られたとの報道もあるが、本市での対応状況は。

医師会と連携し、医師が必要だと判断したものは検査を実施する方針だ。

市内の病院、高齢者施設、民間幼稚園、放課後児童クラブ等にマスク確保状況のヒアリングを行い、在庫僅少のところに優先して配付した。

健康安全科学センターにおける現在の検査上限数は。

2月28日に3月分を中止した。キャンセルが間に合わなかったものは給食室にあり、保存ができるものは4月に使用する予定だ。

市内の病院、高齢者施設、民間幼稚園、放課後児童クラブ等にマスク確保状況のヒアリングを行い、在庫僅少のところに優先して配付した。

学区の自然環境体験(小学校5校)について

市内の市立小学校3、6年生を対象とした「総合的な学習の時間」を使い、小学校区ごとに地元の自然環境にふれ合いながら学ぶ体験授業を実施するための予算措置です。

自然環境に関する活動を行っているNPO(専門家)による講義や、自然観察や池の清掃などのフィールドワーク(全4



回)を通じて、子どもたちが自然の大切さや、ふれ合いの楽しさを実感することができま

主な質疑

実施校はどのように決めるのか。

年度初めの教育委員会の会議で全校に周知し、手を挙げていただいた5校を対象とする。

なぜ5校なのか。予算規模に加え、派遣可能な講師数から実施校

長井海の手公園(ソレイユの丘)機能拡充事業について

長井海の手公園は、隣接する3.3haの国有地を取得するとともに、横須賀市が国から管理委託を受けている公園南側に位置する国有地(崖地)を加え、公園の交流拠点としての機能拡充と開園から15年経過し、大規模修繕が必要な既存施設の再整備を行うための基本計画を策定しました。

さらに、よこすか西海岸や三浦半島全域に波及するにぎわいを創設し、広域的な観光交流拠点機能を充実させることで「観光立市よこすか」の実現を図ります。



現在の長井海の手公園(ソレイユの丘)

主な質疑

現在ある建造物を建て替える考えはあるのか。

基本計画に基づく内容であれば柔軟に対応していく。

夏期18時閉園・冬期17時閉園を変更する予定はあるか。

民間事業者の提案内容を踏まえ様々な角度から検討する必要性を感じている。

夏期18時閉園・冬期17時閉園を変更する予定

特殊詐欺防止機能付電話機等の購入補助について

市民部では、特殊詐欺防止機能付電話機等を購入する際の、補助制度を新設します。

電話機1台あたりの限度額は、1万円で、50%(県補助金3千円+市補助金2千円)の補助を予定しています。

電話機1台あたりの限度額は、1万円で、50%(県補助金3千円+市補助金2千円)の補助を予定しています。

主な質疑

この補助制度の周知方法はどのように考えているのか。

高齢者に身近な社会福祉協議会や福祉施設等への情報発信、実際に電話機を使った出前トークを開催することも有効ではないか。

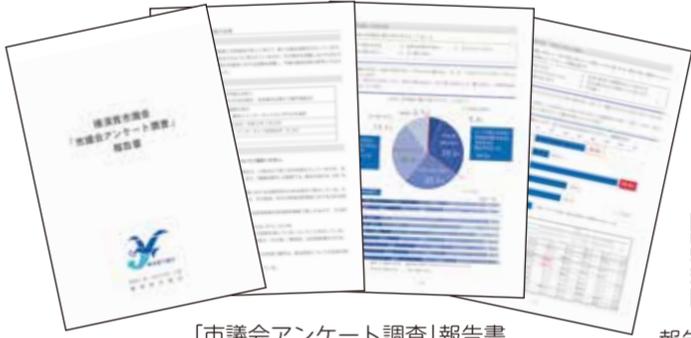
この補助制度の周知方法はどのように考えているのか。高齢者に身近な社会福祉協議会や福祉施設等への情報発信、実際に電話機を使った出前トークを開催することも有効ではないか。



この補助制度の周知方法はどのように考えているのか。高齢者に身近な社会福祉協議会や福祉施設等への情報発信、実際に電話機を使った出前トークを開催することも有効ではないか。

この補助制度の周知方法はどのように考えているのか。高齢者に身近な社会福祉協議会や福祉施設等への情報発信、実際に電話機を使った出前トークを開催することも有効ではないか。

市議会アンケートを実施しました



「市議会アンケート調査」報告書



報告書の全文を
ご覧いただけます

「市民から議会はどのように見られているのか」を把握し、今後の議会改革の参考とするため、市議会は市民アンケートを実施しました。

〔18歳以上の市民3,000人(無作為抽出)を対象に、令和元年12月16日から令和2年1月12日に実施。回収率は23.7%。〕

市議会への関心度は、「関心がある」34.5%、「関心がない」39.1%、「どちらともいえない」25.7%でした。

関心がない理由は「何をしているのかよく分からないから」が63.4%と突出しています。情報発信については、市議会だより(年4回)、議会報告会(年1回)、本会議や委員会等の中継などを行っていますが、主に新聞折り込みで配布している市議会だよりは「手元に届かないため読んでいない」が41.3%で、情報発信の方法も課題であることが明らかになりました。

「市議会は、市民の声にきちんと耳を傾けることができていると感じますか」には、「感じる」が15.6%と厳しい評価をいただきました。

「市議会に望むこと」「市議会ができていないこと」は共に「地域課題の解決」が最も高く、暮らしの困りごとに対しての議会の更なる関わりが期待されています。

自由記述欄にも多くのご意見をいただきました。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。いただいた意見を参考とし、さらなる議会改革を進めてまいります。

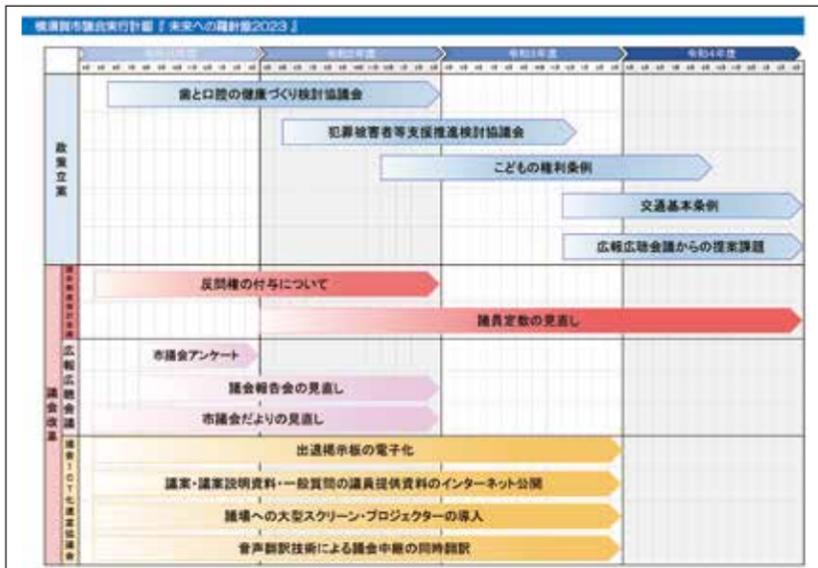
横須賀市議会実行計画を策定しました

本市議会は平成22年6月に議決した議会基本条例を最高規範とし地方分権時代にふさわしい議会の姿を求めて、様々な議会改革に取り組んできました。

これまで、議会基本条例に掲げた取り組みを着実に進めてきましたが、新たな課題や未着手な項目として政策形成機能の強化が浮上したため、議会改革の柱の一つとして、関東学院大学とのパートナーシップ協定も活用しつつ、政策形成サイクルの確立を検討することとしました。

本会議や委員会審査といった市政のチェック機能に加え、市民の負託にこたえるために会派を超えて多様な行政課題への合意形成に努め、政策形成能力を強化することで幅広い住民ニーズを市政に反映させる仕組みを構築し、実行計画として4年間の計画を策定しました。

政策立案及び議会改革について、計画的に検討及び実施を行います。



横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤2023」はこちらからご覧いただけます。

3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら➡



よこすか 未来会議 伊関 功滋



- (1) 新型コロナウイルスについて
- (2) 経営企画部の運営について
- (3) コミュニティセンターの在り方について
- (4) 職員の意識改革について
- (5) 市職員の市内居住の推進について
- (6) 男性の育児休業について
- (7) 男女共同参画について
- (8) 待機児童対策について
- (9) 子育て支援について
- (10) 放課後児童対策について
- (11) 中高生の居場所づくりについて
- (12) 教職員の多忙化について
- (13) 障害者の雇用促進について
- (14) 「手話は言語」について
- (15) 福祉総合相談窓口について
- (16) 市立うわまち病院の移転・新市立病院建設について
- (17) 近隣病院等との連携について
- (18) 未来の子どもたちへの投資について
- (19) 風水害への対応について
- (20) 災害時における電気自動車の活用について
- (21) 空き家対策について
- (22) 行政が主導するまちづくりについて
- (23) 貸館施設の在り方について
- (24) 地域経済の活性化について
- (25) 近代歴史資料館と横須賀博物館の整備について
- (26) ルートミュージアムについて

他

代表質問

自由民主党 西郷 宗範



- (1) 基本構想及び基本計画について
- (2) 人口減少について
- (3) がん対策について
- (4) 福祉政策について
- (5) 障害者に配慮した公園の在り方について
- (6) コミュニティーについて
- (7) 子育て施策について
- (8) 観光立市推進に向けた取組について
- (9) スポーツ振興について
- (10) スポーツ振興における教職員の働き方改革について
- (11) 浦賀奉行所開設300周年と周辺の整備について
- (12) 経済振興とまちづくりについて
- (13) まちづくりにおける防災性の向上について
- (14) スマートモビリティについて
- (15) 民間企業、研究機関及び大学等との連携について
- (16) 人材育成及び適正な人材の登用について
- (17) エコミルの交通安全対策と安定的な収集運搬について
- (18) 水道料金と下水道使用料の適正化について
- (19) 市立横須賀総合高校の今後の在り方について
- (20) 長井海の手公園隣接地活用事業について
- (21) デッカー司令官について

公明党 本石 篤志



- (1) SDGsを本市へ導入することの進捗状況について
- (2) スクールコミュニティ事業と高齢者との関わりについて
- (3) 福祉総合相談窓口のシステム導入と今後の展開について
- (4) 2040年に向けたスマート自治体への転換について
- (5) 保育施設の入所における選考AIの導入について
- (6) こども家庭支援センターを設置した市長の考えについて
- (7) GIGAスクール構想への取り組み方について
- (8) 大規模地震による水道管被害を抑制する対策について
- (9) 観光立市推進施策及び経済対策について
- (10) ルートミュージアム事業の今後の展開について
- (11) 都市公園活用のためのPark-PFIの活用について
- (12) 美術館や博物館を活用した観光振興計画の策定について
- (13) eスポーツを活用した地域活性化について
- (14) 2040年に向けた共生社会の実現について

他

日本共産党 井坂 直



- (1) この先の教育政策・家庭的保育事業・学童保育について
- (2) 「安全保障」と基地の存在・自衛隊への個人情報提供
- (3) ルートミュージアムと戦争遺跡について
- (4) 地域経済振興・災害対応・市民病院と地域医療について
- (5) ジェンダー平等と職員の働き方・コミセン有料化の影響
- (6) 廃プラ焼却とCO₂削減・気候危機と石炭火力発電所

他

個人質問



- (1) 地域福祉について(コミセン使用料の減免について)
- (2) 学校図書館のスクールコミュニティへの活用について
- (3) 遊ぶ時間の保障と防災行政無線チャイムについて
- (4) 米海軍と自衛隊が所在するまちの首長としての責務とは

令和2年3月定例議会 審議結果

○=賛成、×=反対

賛否が分かれた議案	会 派				無会派				
	よこすか 未来会議	自由民主党	公明党	日本共産党	木下義裕	小室卓重	杉田 惺	はまのまさひろ	藤野英明
令和元年度横須賀市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	×	○	○	○	○	×
土地の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	×
令和2年度横須賀市一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	×
令和2年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和2年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○
令和2年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○
長井海の手公園等交流拠点機能拡充事業整備運営事業者選考委員会条例制定について	○	○	○	×	○	○	○	○	×
職員定数条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
横須賀中央エリア再生促進特別減税条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
勤労福祉会館条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
指定管理者選考委員会等条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	×
都市公園条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○
横須賀市建築物の解体等工事に伴う紛争の未然防止に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	×	○	○	×

* その他議案39件については、全会一致で可決または同意の旨回答しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。
 * 議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

請願

件 名	結 果
地区計画の土地利用方針に基づき市道6795号を適正に維持・保全することについて	不採択
開発面積1,000平方メートル未満の接続道路の許可基準の妥当性及び適法性の検証について	不採択
核兵器禁止条約の署名及び批准を求める意見書の提出について	不採択
新設の平和モニュメントに「核兵器廃絶・平和都市宣言」を明記し広く市民へ周知することについて	不採択

意見書

件 名	結 果
新型コロナウイルスによる経済被害を軽減させる緊急経済対策を求める意見書	可決 (全会一致)

会派所属議員名 令和2年3月18日現在

- よこすか未来会議** 伊関功滋 永井真人 小幡沙央里 加藤ゆうすけ 嘉山淳平
 工藤昭四郎 小林伸行 高橋英昭 竹岡 力 角井 基
 長谷川昇 葉山なおし 堀りょういち
- 自由民主党** 大野忠之 渡辺光一 青木哲正 青木秀介 田辺昭人
 松岡和行 加藤真道 西郷宗範 南まさみ 山本けんじゅ
 田中洋次郎 大貫次郎
- 公 明 党** 板橋 衛(議長) 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行
 本石篤志 二見英一 川本 伸
- 日 本 共 産 党** 大村洋子 ねざしかずこ 井坂 直

【新型コロナウイルス感染拡大に対して】

新型コロナウイルスの感染拡大により、本市においても様々な影響が出ています。
 横須賀市としては政府の方針より早く、市が主催するイベントを中止、あるいは延期し、市内施設についても休館などの措置を講じました。
 市議会においても今回は期間の短縮を行った上で、本会議及び委員会へ傍聴にお越しいただく皆様の健康を守る観点から、感染の影響が収束されるまでの間、議会の傍聴をご遠慮いただくこととしました。
 新型コロナウイルスに関する情報発信については、市のホームページに専用のサイト等を設置し、市民生活に影響のあるような相談窓口の連絡先や、施設の休館等の情報など、スピーディーに情報提供を行っているところです。

編集後記



今号から市議会だよりの構成を刷新しました。常任委員会等で審査された議案の紹介を主に掲載することで、横須賀市議会全体としての動きを分かりやすく市民の皆さんにお伝えしていきます。
 より多くの市民の皆さんが議会に関心を持っていただけるよう、

市民アンケートの結果も踏まえ、さらなる改善を続けてまいります。
 編集：広報広聴会議 (◎=委員長、○=副委員長)
 後列左から 井坂直/関沢敏行/渡辺光一/西郷宗範/小林伸行/
 堀りょういち/大貫次郎
 前列左から 小室卓重/○本石篤志/◎嘉山淳平/工藤昭四郎

令和2年6月定例議会の予定

開催日	会議名
6月8日(月)	議会運営委員会
6月9日(火)	本会議 予算決算常任委員会(本会議終了後)
6月12日(金)	教育福祉常任委員会(予算決算分科会) 都市整備常任委員会(予算決算分科会)
6月16日(火)	総務常任委員会(予算決算分科会) 生活環境常任委員会(予算決算分科会)
6月19日(金)	基本構想・基本計画策定特別委員会
6月23日(火)	予算決算理事会、予算決算常任委員会(11時)
6月25日(木)	議会運営委員会、本会議(14時)

* インターネットで中継をご覧になれます。(本会議は手話通訳も同時に行っています)
 * 6月10日(水)・15日(月)・17日(水)・22日(月)・24日(水)は予備日です。
 * 時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。
 * 最新の状況は市議会 困か議事課でご確認ください。